

令和6年度介護福祉等に係る講習会

2024. 8. 21 Wed.

全国福祉高等学校長会主催「介護福祉等に係る講習会」3日目となりました。

【コミュニケーション技術】

午前は、同志社大学 教授 空閑 浩人 先生に、講義を担当していただきました。

介護や支援の現場で求められるコミュニケーションの重要性について、アニメや映画、書籍、音楽に描かれる「言葉」を通じて、ご教示くださいました。「世の中に雑草という草はない」「誰かと心を通わせること、それそのものが生きることだ」など、先生が紹介してくださったメッセージは、心に強く響き、コミュニケーションがどのように人々の心をつなぎ、生活を支える力になっているのかについて理解を深めることができました。

また、学生との関わりや、学生たちの実習経験などについて、具体的なエピソードを交えて紹介していただき、他者を「理解する」「共感する」、そして「寄り添う」ことの本質を考える機会となりました。

<午前の講義の様子>



【認知症の理解】

午後は、静岡県立大学短期大学部 教授 鈴木 俊文 先生に、講義を担当していただきました。

私たち教員が授業で取り扱うことが多い、認知症の基礎的な知識について、深く掘り下げて解説をしていただきました。さらに、先生ご自身のキャリアに基づいた事例をもとに、脳の仕組みやニーズ論、介護過程などに関連付けて認知症ケアを論じていただいたことで、他科目の内容と合わせて理解することの重要性に気づかされました。

また、講義は受講生とのインタラクティブな形式で進められ、先生は、講義の組み立てや方法論についてもリアルタイムで解説してくださいました、受講生にとって、教育内容だけでなくその教授法についても学びの多い時間となりました。

<午後の授業の様子>

